

第407回市（入札日 2017年6月22日）

― 出品・入札とも低調も、ポプラが高い ―

出品量は514.6m³と、前年同期比・前月比ともに3割近い減となりました。初夏ながら傷みの少ないきれいな材の割合が高い印象でしたが、単価も31,842円と、前年同期（38,608円）より低い水準にとどまりました。ただし、元落ち率は5.7%と、前年同期（12.8%）に比べて良好でした。

この数か月、出品も入札も活況を呈しているポプラは、今回も高値での落札が目につきました。高値落札のトップ3（ただし、外材のみの樹種・イチイ・エンジュを除く＝下記参照）がポプラでした。

7月、8月には市は開催されませんので、次回（第408回）は9月15日となります。

○出品数量

官材・単 桧	15.3m ³	26桧	48本
官材・ロット	17.9m ³	6桧	98本
民材・単 桧	381.8m ³	618桧	1,075本
民材・ロット	99.5m ³	8桧	769本
計	514.6m ³	658桧	1,991本

（樹種別）

タモ63.3m³・232本、マカバ4.2m³・10本、セン27.2m³・76本、ナラ136.2m³・477本、ニレ43.6m³・84本、キハダ1.7m³・5本、クルミ13.2m³・43本、アサダ0.9m³・3本、ホホ2.9m³・12本、エンジュ6.1m³・69本、カツラ6.2m³・14本、ザツカバ7.1m³・17本、シュリ1.6m³・4本、イタヤ6.6m³・19本、サクラ2.2m³・9本、シナ27.7m³・94本、メジロカバ119.8m³・733本、ウォールナット18.0m³・15本、アオダモ0.2m³・3本、その他14.4m³・36本（L計503.0m³・1,955本）、イチイ3.1m³・27本、アカエゾマツ0.0m³・0本、クロエゾマツ2.0m³・3本、カラマツ6.0m³・6本（N計11.6m³・36本）

○販売数量 485.2m³（元落ち率5.7%）

○販売金額 1,545万円（1m³あたり平均31,842円（前回38,608円））

○主要樹種の平均単価（1m³あたり、カッコ内は前回）

タモ	24,743円（37,388円）	キハダ	42,040円（21,363円）
マカバ	62,675円（19,041円）	カツラ	21,342円（33,111円）
セン	32,967円（41,010円）	ザツカバ	18,810円（19,086円）
ナラ	36,026円（50,893円）	メジロカバ	34,619円（20,926円）
ニレ	22,831円（27,329円）		

○高値（1m³あたり、外材のみの樹種・イチイ・エンジュは除く。）

- ①279,000円（ポプラ 2.2m、74cm、1本、1.205m³）
- ②269,000円（ポプラ 2.0m、66cm、1本、0.871m³）
- ③189,000円（ポプラ 2.1m、60cm、1本、0.756m³）

2017年7月24日作成（嶋瀬）